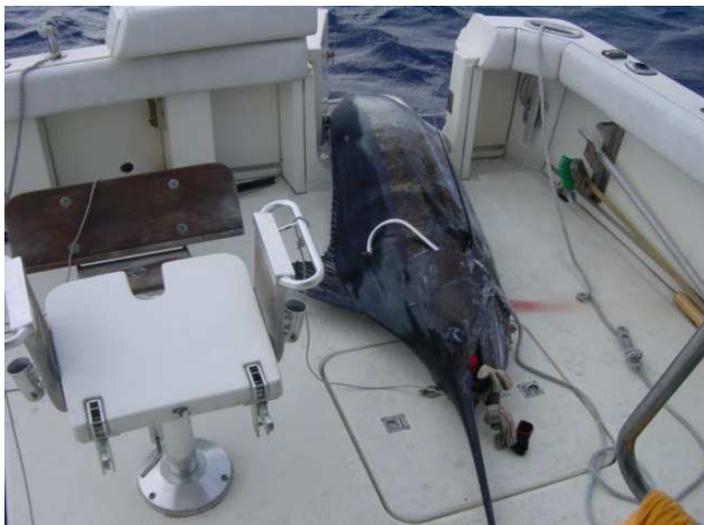


8月13日 2名でのダブルヒット「ランダム」



8月13日、朝5時いずみさの関空マリーナを出航し、白浜三段壁から200mラインを潮岬へ流しました。潮岬で1時間程ねばりましたが、昼の時合をすさみ近辺の水深200mラインと絞り込んでいた為、水色も良かったが北へ向き、その後すさみ沖200mラインでダブルヒットしました。

パターンは2名なので、3本曳き。ファイティングチェアーからフラットショートにトップガン、アウトリガーにパクラの9インチ。3本全てにホークHDを使用。

FBにて、昼食のおにぎりを一口かじったところで、リールが鳴り、ハンドルを握っていた芝野オーナーがゴーを入れる。その後、艇を止めてもフラットショートと左アウトのリールが鳴り止まなかったのがカジキと判断した直後に1匹のテールウォークを確認。その後即、右アウトの回収作業を江本がしました。しかしながら、残る2つのリールが共に鳴っており、一瞬何がなんだかわからなくなりました。ショートは、力強く鳴り、アウトは時々鳴るといった調子。ここで、江本が思ったのは、1匹のカジキにルアーが2個付いているか、アウトはシイラかな???

そこで、先に左アウトを巻く事にし、回収していくにつれラインの角度が変わる方向ではないので、2匹いると判断をし、一方はシイラと予想しておりました。FBより江本が、リバースを入れているにも関わらず、芝野オーナーは、リールを巻く速度が遅いと思った瞬間フォークが現れ、その後方の魚影がカジキだったので、この時初めて2匹ともカジキと分かりました。

当初シイラと思っていたので、ファイト時間10分以内でのリーダー作業突入。で、83kgでも非常に元気が良く、フライングギャフを江本が掛けたが入りが浅く、皮がめくれ失敗。その後、右舷にて暴れまくり、ダブルラインが1本切れました。再度フライングギャフを江本が打ち直し、今度は成功。トランサムステップへカジキをほり上げ、ギャフを外さずギャフロープをトランサムへ縛り付けたままで、もう一方とのファイトを継続。

ショートにかかったカジキは、ラインテンションも緩む事がなく順番を待っていてくれたみたいであったが、江本がリールを巻く感触では、今までにない手ごたえを感じた。取りあえず、ラインも出ている事なので、リバースを芝野オーナーへ要求しテンションをある程度保ちながら、残り100m以内迄ライン回収を短時間ですませました。残り50mぐらいで、出したり、巻いたりやり取りを30分ぐらいし、ランディングしました。

日産マリン株式会社 大阪営業所 江本 秀雄さんレポート

シーズン直前、当方にてリール&ルアーメンテナンスをパクラモスカートはトップガンスカートに交換し、TF仕様のJOBUダブルフックに変更して頂いていました。

シータイガーにて検量 & 写真撮影
クロカワカジキ83kg (パクラ) ファイト時間10分
クリカワカジキ143kg (トップガン) ファイト時間40分

